

測定する能力

論理的言語力	論理的読解力A	論理的読解力B	論理的思考力	論理的表現力
日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたリ、「ことばのつながり」、指示語・接続語などを論理的に扱う力。	文章を論理的に読む力。趣旨を確に把握する力。小説などを客観的に読む力。	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

問題I 論理的言語力

第一問

■解答 (各4点)

イカ

■解説

ア「ヒバリがくいくよ」、ウ「香りがくする」、エ「明日く晴れる」、オ「練習がくあった」が、主語と述語。イの主語は「私は」で省略。カも「取った」に対する主語がありません。

第二問

■解答 (各4点)

(2) ウ (4) エ

■解説

(1) ア「彼女の」 (2) ウ「バックは」  
 (3) イ「好きな」 (4) エ「花がらの」  
 (5) オ「ししゅうが」  
 (6) カ「ついている」

第三問

■解答 (各3点)

(1) ウ (2) エ (3) ア

■解説

「言葉のつながり」を考えます。  
 (1) 「たとえ〜でも」  
 (2) 「むしろ〜できる」  
 (3) 「まるで〜ようだ」  
 (2)の「むしろ」は何かと比べるときに使います。

第四問

■解答 (各3点)

(1) オ (2) ア (3) ウ (4) イ

■解説

(1) 「さらに」という意味の「も」。  
 (2) 「いついつまで」というように、時間的な範囲を表す「まで」。  
 (3) 「〜となる」というように、動作の結果を表す「と」。  
 (4) 受け身の「れる」。

第五問

■解答 (7点)

やがて

■解説

「宿題を終えた」とたんに」という言葉のつながりから、「すぐに〜遊びに行った」となるので、「すぐに」と反対の意味である「やがて」が余分。

\*\*\*

問題II

論理的読解力A

第一問

■解答 (5点)

13人

■解説

(2)の直後に、「十三人の子どもたち」とあります。

第二問

■解答 (6点)

そして神さ

■解説

子どもたちは十三人しかいないのに、顔のあとをかぞえると十四あったのです。本文から抜けている一文は「子どもは十三人しかいないのに、顔のあとが十四あるわけがありません」の理由となっているので、その直後に入れます。

第三問

■解答 (各4点)

(1) オ (2) ア

■解説

接続詞・副詞の問題。

(1) 直前に「小さい神さまがくすきな子どもたちと遊ぶのでした」とありながら、直後は「この神さまは、いちどもすがたをみせたことがない」と話しの流れを引っくり返しているのが、逆接のオ「けれど」。

(2) 直前で一人の子どもが、「雪の上に顔をうつそうよ」といったことを受けて、直後に子どもたちが丸い顔をまっしろな雪におしあてているので、順接のオ「そこで」。

第四問

■解答 (5点)

オ

■解説

決まり切った表現。美しい声のことを「玉をころがすような」と表現します。

第五問

■解答 (5点)

12

■解説

子どもたちは十三人。大将が号令をかけるので、残りの兵隊は十二人。そこで、「十三ッ」といったのが見えない神さまでです。そこで、「神さまをつまかえろっ」と、十二番目の子どものよこをとりまいたのです。「算用数字」とあるので、答えは12。

第六問

■解答 (6点)

十二人の兵隊が番号をいった(とき)。

■解説

指示語は直前から探しましょう。「十二人の兵隊がばんごうをいってしまいました」を指しているのが、これを「十五字以内」にする工夫をしましょう。

第七問

■解答 (5点)

小さな赤い靴

■解説

「子どもたちは雪の上から、まだあたたかい小さな赤い靴をひろいました」とあり、さらに「神さまはこんな小さな靴をはいていたんだね。」とあることから、小さな靴が当てはまるものです。「六字」という条件から、「小さな赤い靴」が答え。

### 問題Ⅲ

論理的思考力

#### 第一問

■解答 (8点)

ウ

#### ■解説

述語が「あいさつをした」。それに対する主語が「先生が」。「先生があいさつをした。」ではだれにあいさつをしたのか分からないので、不完全。そこで「僕に」を加えます。

#### 第二問

■解答 (各4点)

- (1) 楽しい (2) すると

#### ■解説

- (1) 「楽しい」がつながる言葉がありません。  
(2) 「すると」がつながる言葉がありません。

#### 第三問

■解答 (各4点)

- (1) 今日は気持ちの良い天気だ。  
(2) 君は国語ができなさそうだ。

#### ■解説

まず主語と述語を押さえます。  
(1) 「今日は〜天気だ」が、主語と述語。後はそれぞれの言葉についた飾りかを考えると、「気持ちの」↓「いい」↓「天気だ」となります。

(2) 「できなさ」↓「そうだ」が動詞×助動詞。「君が〜できなさそうだ」が、主語と述語なので、後は「国語が」↓「できなさそうだ」とつながります。

#### 第四問

■解答 (各4点)

- (1) 明日は ・ 笑っている  
(2) ようだ ・ これ

#### ■解説

- (1) あれはクラスの友達が育てているひまわりです。  
(2) 君こそこの役にふさわしい人だ。

#### 第五問

■解答 (各4点)

- (1) 連絡の取りようがない。  
(2) 以前にましてずっと楽になった。

#### ■解説

- (1) 助動詞「よう」がつくと、「ようがない」と変形。  
(2) 「以前より」≡「以前にまして」。助詞「に」に注意。

### 問題Ⅳ

論理的読解力B

#### 第一問

■解答 (各8点)

- 〔第二段落〕 それなのに  
〔第三段落〕 人間は一人

#### ■解説

冒頭「人間は一人では生きていけません」が筆者の主張で、後はその具体例。逆接の「それなのに」から第二段落。「人間は一人では生きていけないのに、自分一人の力で生きていけると勘違いしている」が、筆者の主張。「人間は一人で〜」から、第一・二段落の主張をまとめているので、第三段落。

#### 第二問

■解答 (8点)

- 〔始め〕 お金さえ払  
〔終わり〕 もいいます。

#### ■解説

不必要な文を指摘する問題。「お金さえ払えば、それで十分だと勘違いしている人もいます。」がない方がその前後がうまくつながります。突然、お金の話しが来るのは違和感があるし、「勘違いしている人も」の「も」も、直前に「〜人がいる」という文がないと使えません。

#### 第三問

■解答 (8点)

- できません  
↓ できます(できるのです)

#### ■解説

「多くの人たちが力を合わせたおかげで」とあるので、次に「〜飯を食べることができます」となるのがすじみちなのに、「〜飯を食べることができません」は論理的に間違い。

#### 第四問

■解答 (8点)

ア

#### ■解説

本文末尾の「人間は一人で生きていけない限り、やはり、みんなと助け合って生きていかなければなりません。」が最終結論。

### 問題Ⅴ

論理的表現力

#### 第一問

■解答 (各6点)

- 〔太郎〕 否定的  
〔花子〕 肯定的

#### ■解説

太郎 ⑤の発言から、否定的。  
花子 ⑥の発言から、肯定的。

#### 第二問

■解答 (8点)

③

#### ■解説

③がアメリカ人の話し方で、④⑤⑥は日本人の話し方。

#### 第三問

■解答 (8点)

⑤

#### ■解説

⑤の「第一、イエスかノーか、最後の最後まで聞かないと分からない」が、日本人の話し方の具体例。

#### 第四問

■解答例 (12点)

日本人は相手の気持ちを考えて、断定をさけたり、表現をやわらげたりするから。

#### ■解説

二つの言葉をどう使うかがポイント。日本人がなぜはつきりとしらない話し方をするのか。理由を表すので、語尾は「ので・から・ため」で。  
「断定」 日本人は断定しない。  
↓ はつきりしない話し方になる。  
「表現」 日本人は表現をやわらげる。  
↓ はつきりしない話し方になる。

「相手の気持ち」 日本人は相手の気持ちを考える。